企業・団体名（エフビー介護サービス株式会社）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	経営方針書の一つに、個人の考えや価値観で動かないチームケア方針を定め、あらゆる差別を排除する体制を整備している。また、外部／内部相談窓口の設置をしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則及びハラスメントの防止に関する規程を整備している。全事業所に専門の相談窓口の案内を掲示し、一人で悩まずに相談できる体制を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定の順守を徹底し、労働時間管理を行っている。また、労働生産性の向上と多様な働き方に対応するため、労働条件の整備を行っている。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者及び技能実習生の雇用･受け入れを行い、介護人材の基盤強化に力を入れている。海外人材専属の部署を設置し、適切な処遇や労働環境の整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生委員会を毎月開催し、職場巡視を始め･雇入れ時安全衛生教育の実施等、社員の安全確保のための予防及び改善措置を行っている。また、リスクコンプライアンスの観点から、車の運転事故防止に向けた啓蒙活動にも注力している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェック制度実施規程に準じてストレスチェック制度を設けている。また、従業員･管理者向けのメンタルヘルス教育の実施、産業看護師による相談窓口も設置し、メンタルヘルス不調の未然防止と職場環境の改善を行っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性活躍推進法の基づく行動計画の策定や女性管理者の登用等、女性営業職が安心して働ける支援体制を構築している。また、外国人材の積極的な雇用、障がい者雇用の労働環境の整備、定年後も第2定年まで活躍できる環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	新入社員研修、チューター研修、継続的･段階的なレベル別研修、管理者研修、キャリアパス制度など目的に応じた社内研修により人材の育成を行っている。資格取得についても補助金の支給及び表彰制度を設けている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。また、人事考課制度を整備し、公正･公平な人事評価を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断により健康状態の把握をし産業看護師が個別にフォローを行っている。協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」に登録しているほか、一般社団法人日本NASH研究所と連携し、社員の健康の改善･増進を行っている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物は適正に分別、指定業者に処理を委託し適法に処理を行っている。											11.6	12		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	本部にてエネルギー使用量の把握をし、不要な電気･空調の削減、節電･節水に努めている。 【予定】環境省の温室効果ガス算定方法を用いてを排出量を把握する。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	Web会議システムを導入し拠点間移動におけるCO2排出削減に取り組んでいる。Fun to Shareに賛同しクールビズ･ウォームビズによる省エネルギー対策を全社で取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	作業主任者を中心に、使用有機溶剤の管理を行い、適切な使用･使用量の抑制に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	事業活動が環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。また、環境整備を当法人の文化と位置づけ、事業所内外の清掃活動を実施している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	再生可能な資源は分別しリサイクルに取り組んでいる。書類の印刷時には裏紙の積極利用を行い、社内でも資源の再利用を実施している。												13		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	使用量を把握するとともに節水装置を設置し、水資源の利用削減に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境保全活動、CSR 活動等の実施についてホームページで公表を行っている。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	一部の事業所にて太陽光発電設備による再生可能エネルギーの利用を行っている。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	事業所の新規建築時にはツーバイフォー工法を積極採用することで材料製造過程におけるCO2の削減と地球環境への負荷軽減につなげている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則にて会社の名誉や信用を損なう行為や業務に関連し私的利益を得る行為を禁止し周知している。また、経営方針書の中でも明文化し読み合わせを行っている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス委員会を設置し、社員に周知している。また、法令に準じて利用者様本位の情報提供を行っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標等知的財産権の取得や管理をしている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に関する規程を整備し全社員へ周知を行っている。PC及びシステムへは権限設定を行い、個人情報の保護と管理を行っている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	レンタル商品については清掃･メンテナンス･製品確認の手順を定め、提供前に徹底した品質の確認を行っている。 介護サービスについてはリスクマネジメントと介護技術の研修を行い、安心･安全に提供できる体制を整えている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	事業所内での勉強会を始め、月に1回以上は事業間の情報共有を行い、サービス提供品質の向上に努めている。サービス提供で使用している自社在庫商品についても廃棄基準を定め、常に一定以上の品質を確保している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	経営理念に「福祉、介護を通じて介護改革を実践し、社会に貢献」を掲げ、ハード･ソフト両面から常に改革を求め、新しいサービスの提供を考え、利用者様から望まれるサービスの提供に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域密着型のサービスに注力し、住み慣れた地域で生活が継続できるよう、法人内外の組織や地域住民の方々との連携を図り、地域に根差した事業展開を行っている。また、地域交流スペースの開放を行い、開かれた事業所運営に努めている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	従業員によるボランティア活動を援助するとともに災害･医療活動に関しても寄付を行っている。事業所においては地域ボランティア組織の受け入れを積極的に行い交流を図っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域事業者との取引を通じて地域経済活動の活性化に寄与している。人材確保の面でも積極的な地域雇用の創出に努めている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営方針を明文化した｢経営方針書｣を朝礼で唱和し、全社員が共通の価値観をもってサービスの提供を行っている。この｢経営方針書｣の内容は、より良いサービスの提供を目指し毎年改定を行っている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守の取り組みを経営方針の一つとし、経営方針書にコンプライアンスの項目を設け全社員へ浸透させている。また、月1回以上は法令遵守のための通達を管理者を通して行っている。事業運営についても内部監査体制による巡回指導を実施し、運営内容について細部まで確認を行っている。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	全社的な取り組みの推進･取りまとめをする部署を設置している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	法令遵守とともに諸規程を適正に管理し、ステークホルダーズ利害関係人の立場を尊重し、顧客･取引先･社員･株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持することに努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	コンプライアンス･リスク管理規程、その他関連規程を定め、リスクマネジメントを行う体制を整備している。また、リスク･マネジメントコンプライアンス推進委員会を設置し、コンプライアンス違反が懸念される事象に適切に対応するとともに、当社のコンプライアンス推進を行っている。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	当社グループは経営理念のもとに、法令を遵守、倫理的行動をとることを基本原則とし、地域に密着した企業として本業を通じた地域貢献を主軸とし、SDGsに沿った環境･社会へ配慮した活動を積極的に行うことで地域経済および社会の持続的な発展を目指している。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	大規模災害を想定した事業継続計画(BCP)を策定している。また、基幹システムはクラウドサービスの利用あるいはデータバックアップの冗長化を図っている。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）